

科目名		電気設備 II			
担当教員		町田 実		実務授業の有無	○
対象学科	建築設備システム科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		1. 電気理論の基本、計算の仕方、法令などをしっかりと理解する。 2. 配線、工事の施工方法の基本を理解する。 3. 第2種電気工事士筆記試験【電気基礎理論】の対策を十分に行う。 4. 座学→模擬試験→解答と解説を繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。			
学習目標 (到達目標)		・第2種電気工事士筆記試験の各学科項目が、最終到達として第2種の合格レベルの合格点になるよう習得する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		第2種電気工事士筆記試験模範回答集 電気書院 第2種電気工事士筆記試験すいっと合格 藤崎和弘・著			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	電気に関する基礎理論 (前年度の復習)			方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
2	配電理論及び配線設計 (前年度の復習)			方法：理論解説と問題集の練習と解答・解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
3	器具類並びに工事用の材料及び工具 (前年度の復習)			方法：器具記号と名称及び使用方法の解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
4	電気工事の施工方法 (前年度の復習)			方法：写真及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
5	一般電気工作物の検査方法 (前年度の復習)			方法：検査器具の実物及びボードにて解説 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
6	配線図 (前年度の復習)			方法：図記号の読み取り、複線図の練習 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
7	一般電気工作物の保安に関する法令 (前年度の復習)			方法：用語の解説と法の解釈及び練習問題の実施 達成目標：練習問題合格点の獲得 準備学習：教科書の予習	
8	期末テスト：第2種電気工事士筆記試験の内容でテスト			方法：第2種電気工事士過去問題より出題 達成目標：第2種電気工事士過去問題での合格 準備学習：教科書の予習	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
定期試験	確認問題	平常点		項目毎に、模擬問題を行うことで習得状況の確認をする。又、繰り返し行う事で重要なポイントを十分に理解させる。 合格基準点に到達するため、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。	
90 %	5 %	5 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気工事士・施工管理技士として30年間電気工事の現場に係わっていた。第一種電気工事士			